

## I 学校経営の努力点

### 1 学力の向上

基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力、その他の能力を育み、主体的に学習に取り組む態度を養うことが重要である。そのためには、学習指導要領の趣旨を十分に踏まえ、一人一人の実態を把握し、学びを大切にすると同時に「ともに学ぶ」ペア学習やグループ学習を充実させる学習指導を実践し、学ぶ意欲と学ぶ力を高める必要がある。また、生徒が互いに認め合い高め合うことのできる学習環境を構築し、教師側も指導力を高め、学び合える同僚性を築き、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を進めなければならない。

具体的には、「めあて」と「振り返り」の充実、さらに「振り返りの工夫」やジャンプの課題（難問）への挑戦により、自分の考えを書いたり、発表したりすることを通して、学ぶことに関心を持ち、自己の学習活動を振り返って、次につなげる「主体的な学び」を実現させる。また、生徒同士の協働、教職員等との対話や先哲の考え方などを通じ、自己の考え方を広げ深める「対話的な学び」の実現を目指し、さらに、習得・活用・探究という学びの過程の中で、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら、より深く理解したり、考えを形成したり、解決策を考えたりすることに向かう「深い学び」へと導いていきたい。また、家庭学習の習慣化を図るために、生活ノートでの見取り、一人一台端末の活用、質問教室の充実も含め、生徒の自主的な学びを支援していきたい。

### 2 心の教育の充実と人間力（社会で生きていくための力）の向上

自立した一人の人間として他者とともによりよく生きることのできる人格を形成することを目指して、人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を基盤とした道徳科を中心とした道徳教育を充実させたい。認めて伸ばす生徒指導を基本に、自分が認められることから他者を認める心を育て、いじめのない学校づくりを目指す。「やまなみ賞」による善行・篤行の積極的な表彰により、自信と誇りを持ち、努力を続ける心を育てたい。また、「いじめ防止基本方針」に基づく、いじめの未然防止、早期発見と適切な組織的対応による早期解決、Q-U検査の活用と教育相談の充実及び意図的なエンカウンターの実施や生徒と向き合う時間の充実などにより、「わを大切にする」人としての生き方を身に付けさせたい。

さらに、様々な体験活動を通して、喜んだり、感動したりする経験をさせたい。

### 3 体力の向上

年間を通して全校で部活動開始時に一斉に行う「ランニングタイム」や校内長距離走大会、複数顧問制で多くの目で見守り個に応じた指導を行う部活動。体育の時間における運動量の確保と補強運動の工夫。保健指導の充実や食育の推進などにより、「きびしく自分を鍛える」ことにより体力の向上を図りたい。また、暑さ指数（WBGT）を測定した熱中症の予防、規則正しい生活や衛生的な生活、加湿器や空気清浄機の活用による感染症の予防にも努めたい。さらに、防災教育を充実し、安全教育と安全管理の徹底を図りたい。

### 4 信頼される安全安心な学校

信頼される学校づくりには、信頼される教職員の存在が不可欠である。服務規律の確保は言うまでもないが、分かる授業を展開するとともに、生徒をよく見て褒める信頼される教師集団の構築を目指す。また、自主的・意欲的に研修に励み、確固とした教育理念と人権感覚、的確な指導力を持った教職員の育成を図る。さらに、危機管理マニュアルの有効活用や安全確保のための点検整備、学校行事の安全、防災教育や避難訓練の充実により、安全安心な学校づくりに努力したい。

### 5 開かれた学校づくり

家庭の教育力や地域の教育力を活用するためには保護者や地域社会との連携が重要であり、常盤中通信や学校 Web サイトにより学校の情報を常に発信し、保護者や地域の理解と協力を得ていきたい。また、学校評価や学校評議員制度も活用し、地域に開かれ、地域に誇ることのできる学校づくりを推進したい。

## II 教育目標

自他の生命と人権を尊重し、真理と平和を希求するとともに、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな生徒の育成をめざすために、以下の教育目標（目指す生徒像）を掲げ全教育活動に取り組む。

- (1) **と** もに学ぶ生徒 (ともに学び、学力を高める生徒)  
 (2) **き** びしく自分を鍛える生徒 (厳しく自分を鍛え、よりよく伸びる生徒)  
 (3) **わ** を大切にす生徒 (和を大切にし、認め合い、支え合い、高め合う生徒)

## III 教育目標の視点（育てたい能力・資質）と具体目標

### 1 教育目標達成のための視点（育てたい能力・資質）

教育目標（生徒像）	育てたい能力・資質（視点）
(1) <b>と</b> もに学び、学力を高める生徒	知識及び技能・思考力・判断力・表現力 学ぶ力・人間性・主体的、対話的で深い学び 協調性・自主性・創造性・向上心
(2) <b>き</b> びしく自分を鍛え、よりよく伸びる生徒	体育・健康・食育 責任感・耐性・自制心・生命尊重・自律性・向上心・ 主体性・心身の健康・正義感・勇気
(3) <b>わ</b> を大切にし、認め合い支え合い、高め合う生徒	道徳科・体験活動・豊かな心・健やかな体 気配り・思いやり・協調性・責任感・謙虚さ・向上心・ 郷土愛・奉仕・誠実・生命尊重の精神・国際理解

### 2 教育目標達成のための具体目標と具体策

教育目標	具体目標	具体策
(1) <b>と</b> もに学び、学力を高める生徒	① 学びの共同体「聴こう、考えよう、伝えよう」で学習に取り組み基礎・基本を確実に身に付ける。 ② 振り返りの工夫を図り、自分の考えを書いたり、発表したりすることで、主体的・対話的な学びにつなげる。 ③ 互いの考えを伝え合いながらより高い学びを創造することができる。	○ 基礎・基本を明確にし、分からないときは聴き合い、教え合いができる指導の工夫を図る。 ○ 「めあて」により課題を明確にし、「振り返り」により学習の定着と発展を図り、意欲と達成感を持たせる。 ○ ペアやグループ、また全体で伝え合う活動により、互いの考えを共有させ、より高い学びへ導く。
(2) <b>き</b> びしく自分を鍛え、よりよく伸びる生徒	① 一人一人が進んで健康と体力の増進に努めることができる。 ② 自他の安全に配慮して運動や生活を行うことができる。 ③ 個性を生かしながら社会に進んで貢献しようと、見通しを立てて努力を続けることができる。	○ ランニングタイムや部活動により心身を鍛え耐性を育てる。 ○ 安全点検や安全指導・防災教育を充実させる。 ○ 生き方を考えるキャリア教育を通して、将来の進路に希望を持ち自己実現に努めさせる。
(3) <b>わ</b> を大切にし、認め合い、支え合い、高め合う生徒	① 誰にでも進んであいさつをすることができる。 ② 自他の生命や人権を尊重することができる。 ③ 気配りができ、思いやりの心で人に接することができる。 ④ 自国や郷土の伝統と文化の理解を通して、国際人としての共生の態度が取ることができる。 ⑤ 社会の変化に対応した資質と能力を身に付けることができる。	○ 教職員があいさつの率先垂範をする。 ○ 道徳科の確かな実践と日常での道徳教育の充実を図る。 ○ 学校いじめ防止基本方針に基づいた指導体制の充実を図る。 ○ 地域の伝統や文化を理解し体験する活動を通して、互いを尊重し、自己実現のできるグローバルな精神を養う。 ○ コミュニケーション力と社会性を高め、よりよく生きる資質と能力を養う。

## IV 学校経営の方針

### 1 指 針

知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな生徒を育成するために、学習指導要領をふまえ、学校及び生徒・保護者・地域の実態に則した、意図的な教育活動を通して、自分自身や学校に自信と誇りを持ち、『**地域から信頼され、地域に誇ることのできる学校(みんなの心に輝く学校)**』の創造に努める。また、「聴こう・考えよう・伝えよう」を合い言葉とした学びの実践により、生徒一人一人の生きる力を育み、生き生きと充実した「居がいのある楽しい学校生活」ができることを目指し、全教職員が共通理解の上での凡事徹底により、常盤中学校ならではの教育活動を実践し、特色ある学校経営を推進する。そして、本校で学べてよかった、本校で過ごすことができよかったと思いながら、最終年度を過ごし、閉校を迎えられるようにする。

**※(みんなの心に輝く学校) 常盤中学校を語るとき、生徒・保護者・地域の方々、そして教職員や関係者の誰もが、瞳を輝かせて満ち足りた気持ちになる。そんな学校をつくりたい。**

### 2 具体的方針

- (1) 常盤中学校の教職員としての自信と誇り、使命感・責任感・向上心を持ち、厳正に勤務するとともに、常に教育の専門職としてのたゆまぬ研鑽に励み、自らの資質向上に努め、生徒、保護者はもとより、地域の人々に信頼される教職員となれるよう努める。
- (2) 教職員一人一人が互いに人格や立場を尊重しながら指摘し合うことのできる風通しのよい雰囲気や同僚性を築き、協力して明るく、信頼しあえる職場づくりに努める。
- (3) 校務分掌の役割分担と責任を明確にし、学校組織としての機能を活性化する。
- (4) 全教職員が諸教育活動の指導内容を共通理解し、同一歩調「凡事徹底」の下に一貫した指導に努める。研究授業や授業リフレクションによる研究会を継続し、一人一人の学びを大切に学習指導の充実と、意欲を引き出す家庭学習指導により、生徒の学力向上と学ぶ力の向上を図る。
- (5) 生徒指導の一層の活性化と充実を図り、明るく活力に満ちた創意ある学校づくりに努める。やまなみ賞の表彰で、認めて伸ばす生徒指導を実践し自信と誇りを持たせるとともに、自分が認められることから他者を認める心を育て、いじめのない学校づくりを目指す。
- (6) 人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を基盤とした道徳科を要とした道徳教育の充実を教育活動全体を通して適切に行う。また、偏見や差別の不合理性、不当性に気付き、偏見や差別をなくそうとする人権尊重の精神を醸成する人権教育、共生社会の精神を育む福祉教育を推進する。
- (7) 学習指導要領全面実施に伴う教育課程の適切な実施に努める。
- (8) めざす生徒像（教育目標）に迫るため、諸教育活動のねらいを明確にして実践する。また、教育目標に即した評価を実施し、P D C Aにより改善に生かす。
- (9) 明るく潤いのある人的環境づくりと清潔で安全な物的環境づくり、生徒の人権を尊重する言語環境づくりに努める。
- (10) 地域に開かれた学校づくりをめざし、学校からの通信や学校Webサイトの充実による情報発信、外部講師や体験活動による教育活動の実践に努める。
- (11) 保護者や地域との連携を密にし、一体となって心身共に健康な生徒の育成に努める。
- (12) 閉校準備委員会と連携を図りながら、閉校記念式や閉校記念誌、閉校記念品等の準備を進める。